

如来蔵思想Ⅰ・Ⅱ

仏教

法藏館



たかやまき じしきじゅう

高崎直道著 ▼Ⅰ巻306頁・Ⅱ巻416頁

如来蔵思想研究の第一人者として世界的に令名の高い著者の論文集。梵・蔵・漢の文献を駆使しつつ、インド大乘仏教全般を視野におさめながら、如来蔵思想の成立過程とその展開を仔細に検討する。

【目次】

I

はしがき

如来蔵・仏性思想

法性、法界、法身、仏性

——大乘仏教に於ける究極的価値の構造——

法身の二元論——如来蔵思想の法観念——

大乘の諸仏と如来蔵思想

如来蔵思想の菩薩論——『宝性論』による概観——

唯心と如来蔵

如来蔵思想をめぐる論争

——清弁造『中観心論』声聞真実決択章を素材として——

如来蔵思想と縁起

如来蔵思想における悟りと救い

客塵煩惱——如来蔵思想の煩惱論——

如来蔵説における信の構造

解説

II

『究竟一乗宝性論』の構造と原型

宝性論における如来蔵の意義

如来蔵と縁起——『宝性論』を手がかりとして——

AMUKTĀJĪNA の語義 ㄣㄣㄣ

『宝性論』I, 9 ㄣㄣㄣの Ārambhaṇa ㄣㄣㄣ

『般若経』と如来蔵思想

華嚴教学と如来蔵思想

——インドにおける「性起」思想の展開——

『華嚴経・如来性起品』と『宝性論』

——ㄣㄣㄣ'tathagata-gotra-sambhava' (如来性起)とㄣㄣㄣ

う語をめぐる——

『無上依経』*Anuttarāśrayasūtra の構造

真諦訳・撰大乘論世親釈における如来蔵説

——宝性論との関連——

転依——Āśrayaparivṛti ㄣㄣ Āśrayaparāvṛti——

究極的真理の記述

——大乘仏教に於ける六つのカテゴリーによる——

仏教とインド社会

——ゴートラ gotra の観念をめぐる——

GOTRABHŪ ㄣㄣ GOTRABHŪMI

GOTRABHŪMI 覚え書

——特に『般若経』の十地をめぐる——

ツオンカパのゴートラ論

聖種 Āryavaṃśa ㄣㄣ 種姓 Gotra

種姓に安住する菩薩——瑜伽行派の種姓論・序説

解説

索引

◆著者略歴

一九二六年東京に生まれる。一九五〇年東京大学文学部哲学科(印度哲学専攻)卒業。駒澤大学助教授、大阪大学助教授、東京大学文学部教授、鶴見大学教授、同学長を歴任。東京大学名誉教授、鶴見大学名誉教授。文学博士。二〇一三年逝去。

編著書は、『A Study on the Ratnagotravibhāga (Uttarāntara)』(SMEO)、『仏教史概説インド篇』(共著、平楽寺書店)、『仏教の思想II 古仏のまねび(道元)』(共著、角川書店)、『如来蔵思想の形成』(春秋社)、『大乘仏典12 如来蔵系経典』(中央公論社)、『仏典講座17 楞伽経』(大蔵出版)、『インド思想史』(共著、東大出版会)、『仏教入門』(東大出版会)、『講座大乘仏教』全10巻(共編、春秋社)、『如来蔵思想』I・II、『インド思想論』(いずれも法藏館)、『大乘起信論』(共訳、岩波文庫)、『高崎直道著作集』全9巻(春秋社)など。

: KP00052414、9784831873316
同時アクセス1 (本体価) ¥16500

: KP00052415、9784831873323
同時アクセス1 (本体価) ¥24200

紀伊國屋書店 デジタル情報営業部
TEL:03-6910-0518 FAX:03-6420-1359
〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10
ict_ebook@kinokuniya.co.jp

中国佛教の研究 全三巻

西域・中国仏教

おうちようえにち

横超慧日著 ▼第一 403頁・第二 315頁・第三 285頁



法藏館

第一 漢魏両晋から南北朝時代における仏教の初伝から定着の実態に迫った論考を収録。第二 中国仏教の義学興隆の前提となる鳩摩羅什の業績と彼を中心に展開した学問的活動を中心にした諸論考を収録。第三 戒壇史を概観した「戒壇について」や明末仏教と基督教の相互批判の問題など、広い関心に基づく論考を収録。中国仏教研究の不朽の名著。

【目次】

第一

廣律傳來以前の中國に於ける戒律

序説

- 第一章 道安以前の戒律
- 第二章 道安の襄陽滞在時代までの戒律
- 第三章 曇摩侍譯の比丘戒と比丘尼戒
- 第四章 鼻奈耶舍所出の鼻奈耶
- 第五章 道安晩年の戒律論

結

- 初期中国佛教者の禪觀の実態
- 中国佛教初期の翻譯論
- 中国南北朝時代の佛教學風
- 中国佛教に於ける大乘思想の興起
- 中国佛教に於ける國家意識

索引

第二

仏教における宗教的自覚——機 思想の歴史的研究

- 鳩摩羅什の翻譯
- 僧叡と慧叡は同人なり
- 教相判釈の原始形態——鳩摩羅什とその弟子をめぐる
- 魏晋時代の般若思想
- 僧肇の不真空論に見える三家異説を中心として
- 大乘大義章研究序説
- 大乘大義章における法身説

第三

戒壇について

- 一 序説／二 六朝時代の戒壇／三 唐道宣の関中創立戒壇／四 道宣門下の求法旅行と南中国における戒壇／五 義浄所伝の那爛陀寺戒壇と義浄・一行・金剛智による戒壇建設／六 天宝以後における唐代の戒壇／七 北宋および新羅・高麗の戒壇／八 日本の戒壇／九 結語

中国浄土教における三乗観

- 一 はしがき／二 極楽についての三乗観／三 往生についての三乗観／四 浄土教思想の中の一乗的要素と三乗的要素

浄土教における声聞思想の発展

- 一 序説／二 浄土三経に現れたる声聞／三 インドにおける論師の二説／四 中国における学説発展の概観／五 曇鸞の発心往生無声聞説／六 慧遠の発心往生有聲聞説／七 善導の非発心往生有聲聞説／八 元暁の調和的一乗説／九 憬興の正統的三乗説／十 懷感の大乗声聞説／十一 敦煌本経疏の極楽純大乘説

浄土經典における女性

- 一 安樂浄土無女人説／二 男女不平等に対する自覚／三 兜率天と阿閼佉国の女人／四 变成男子と化生

慧遠と吉蔵

- 一 修学時代の二人／二 二人の社会活動／三 著述より見たる学問／四 慧遠の涅槃学／五 慧遠と法華・華嚴その他／六 吉蔵の学風の特徴

积経史考

- 一 はしがき／二 訳経・講経・注経／三 积経史上における竺道生／四 格義・抄経より専門的研究へ／五 疏积時代／六 玄談時代／七 論积時代／八 宗积時代

明末佛教と基督教との相互批判

- 一 序説／二 明末佛教界の大勢／三 利瑪竇とこれを通る中国人／四 天主実義の佛教批判／五 佛教と儒教との関係／六 株宏の天説／七 福建における關邪運動／八 智旭の天学二徴／九 結

索引

◆著者略歴

一九〇六年、愛知県に生まれる。一九二九年、東京大学文学部印度哲学科卒業。大谷大学名誉教授、文学博士。一九九六年、逝去。著書『北魏仏教の研究』『涅槃経一如来常住と悉有仏性』『法華思想』（平楽寺書店）、『羅什（大蔵出版）』『法華経序説』『仏教とは何か』、編著『仏教学辞典』（いずれも法蔵館）など多数。